

リース終了時のMDM設定解除について

MDMとは、Mobile Device Management（モバイルデバイス管理）の略で、組織や企業がスマートフォン、タブレット、ノートPC等のモバイル端末を、一元的に管理・監視するためのソフトウェア及びサービスの総称です。例えば以下のような製品があります。

●MDMの一例

Absolute Software社「Absolute Manage」
Apple社「Apple Business Manager」、
「Apple School Manager」(使用例：Apple社製品)
Microsoft社「Intune」(使用例：Windows系の情報端末)

これ以外にもさまざまなベンダーがMDMサービスを提供しています。MDMには、デバイスのセキュリティ管理、アプリケーション管理、データの保護、デバイスの監視といった機能があり、モバイル端末を仕事で使用している多くの組織で、なくてはならない重要なサービスとなっています。

ただ、リース契約終了後に一部のMDMで管理対象外としなかった場合、モバイル端末をデータ消去したにもかかわらず、お客様の企業名等が表示される場合があると報告されており、情報漏えい等の事故が発生し、お客

様に法的責任やレピュテーションリスク*が生じる可能性があります。

全てのMDMでこのようなリスクが生じるわけではありませんが、最悪の事態を引き起こさないために、リース終了後には必ずお客様に設定解除をしていただくことが非常に重要です。

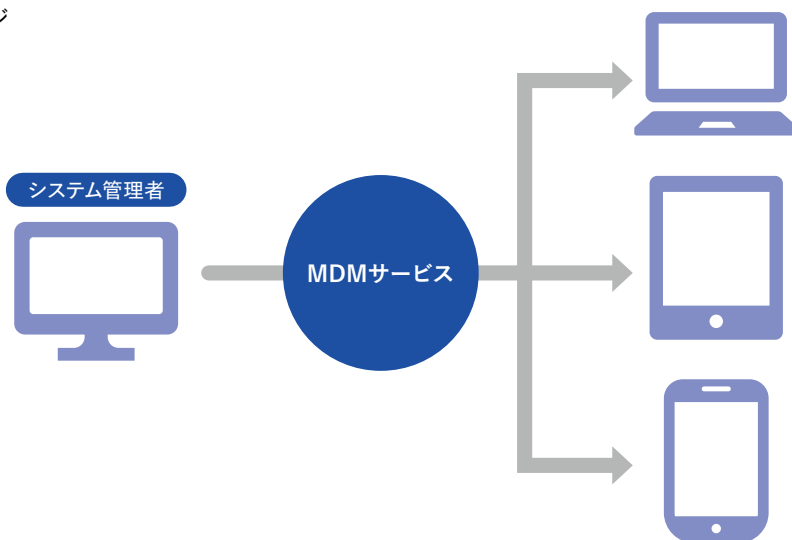
MDMサービスは、お客様とサービス提供会社との間の契約に基づくものであり、弊社及び弊社の子会社では、MDMの登録状態を確認することができません。また弊社及び弊社の子会社がモバイル端末のデータを消去しても、一部のクラウド上で管理されているMDMの登録情報が削除されることはありません。

そのため弊社では、リーフレット等を通じて、お客様自身でMDMの設定を解除してからリース終了物件を返却していただくようにご案内しています。

情報漏えいのリスクを防ぐはずのMDMサービスが、正しく使用しないと情報漏えいを引き起こす可能性もあるため、注意が必要です。

*レピュテーションリスク：企業に対する否定的な評価や評判が広まることによって、企業の信用やブランド価値が低下し、損失を被る危険度。

(図) MDMのイメージ



●お問い合わせ

株式会社J ECC 営業支援部 資産管理課 TEL：03-3216-3692

掲載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。